

感染症対策対応型消費者調査指針のご案内

(感染流行の継続縮小を前提とした今後の定性・定量調査の方向性)

2020年 6月

マクセス株式会社



MAXCESS

1. ごあいさつ

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により、マクセス株式会社では2020年4月以降、オフラインの調査につきましては定性調査、定量調査の両方の実施を停止し、在宅ワークを中心とした勤務体制に移行してまいりました。
- ◆ 政府による勤給事態宣言及びこれに伴う様々な経済活動の自粛もようやく解除され、調査業界でも今年の夏には多くの調査会社でオフラインの調査を開始する動きがみられます。
- ◆ 弊社でもZOOMやSKYPEなどを利用したオンラインでの定性調査の実施体制も整備しておりますが、グループインタビューにおいては、グループで実施することによるグループダイナミクスがなかなか得られないこと、実際に商品を対象者に見ていただく、試していただく等の点で、やはりオフライン調査と同様の成果を得ることは難しい面もあり、一日も早くオフラインでの調査が再開できることが最大の願いでもありましたので、オフライン調査再開の動きには大きな期待を持っています。
- ◆ ただし、ワクチンや治療薬が開発・実用化されず、完全に新型コロナウイルス感染症が終息しない今の時点でオフラインの調査を再開するには、準備段階から実査段階、実査終了後まで、様々な感染症対策が必要となることは言うまでもありません。
- ◆ オフラインの調査はいわゆる“3密”になりやすい環境での実施がこれまでは当たり前でしたが、今後は、極力“3密”にならない環境を用意し、感染のリスクを最大限防ぐ形での実施が強く求められます。
- ◆ マクセス株式会社では2007年の創業以来、オフラインにおいては定性調査、定量調査どちらにおいても多くの調査を実施してまいりましたが、今回の新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、今後の調査実施における感染症対策の指針を作成いたしました。
- ◆ なお、本指針に基づくオフライン調査は、新型コロナウイルス感染症が今夏から秋にかけて感染流行がさらに縮小し、社会経済活動が全般的に再開されていくということを前提に作成したものですので、今後、感染流行が再度拡大傾向となり、社会経済活動の再度の自粛が求められるような場合には、本指針をもってオフライン調査の再開とはなりません。
- ◆ また、今年の終盤の冬以降に來ると想定される感染症流行第2派、第3派の流行状況によっては、再度、オフライン調査の自粛を行う可能性も否定はできませんことを前提に、本指針をご覧ください。

A. 感染症対応型定性調査指針のご案内

1. オフライン調査

①オフライン定性調査における感染症対策	-----	3
②スクリーニング時点での感染症関連の確認質問	-----	4
③オフライン・グループインタビュー	-----	5
④オフライン・デプスインタビュー	-----	6

2. オンライン調査

①オンライン・デプスインタビュー	-----	7
------------------	-------	---

B. 感染症対応型定量調査指針のご案内

1. オフライン調査

①オフライン定量調査における感染症対策	-----	8
②スクリーニング時点での感染症関連の確認質問	-----	9
③オフライン・会場調査	-----	10

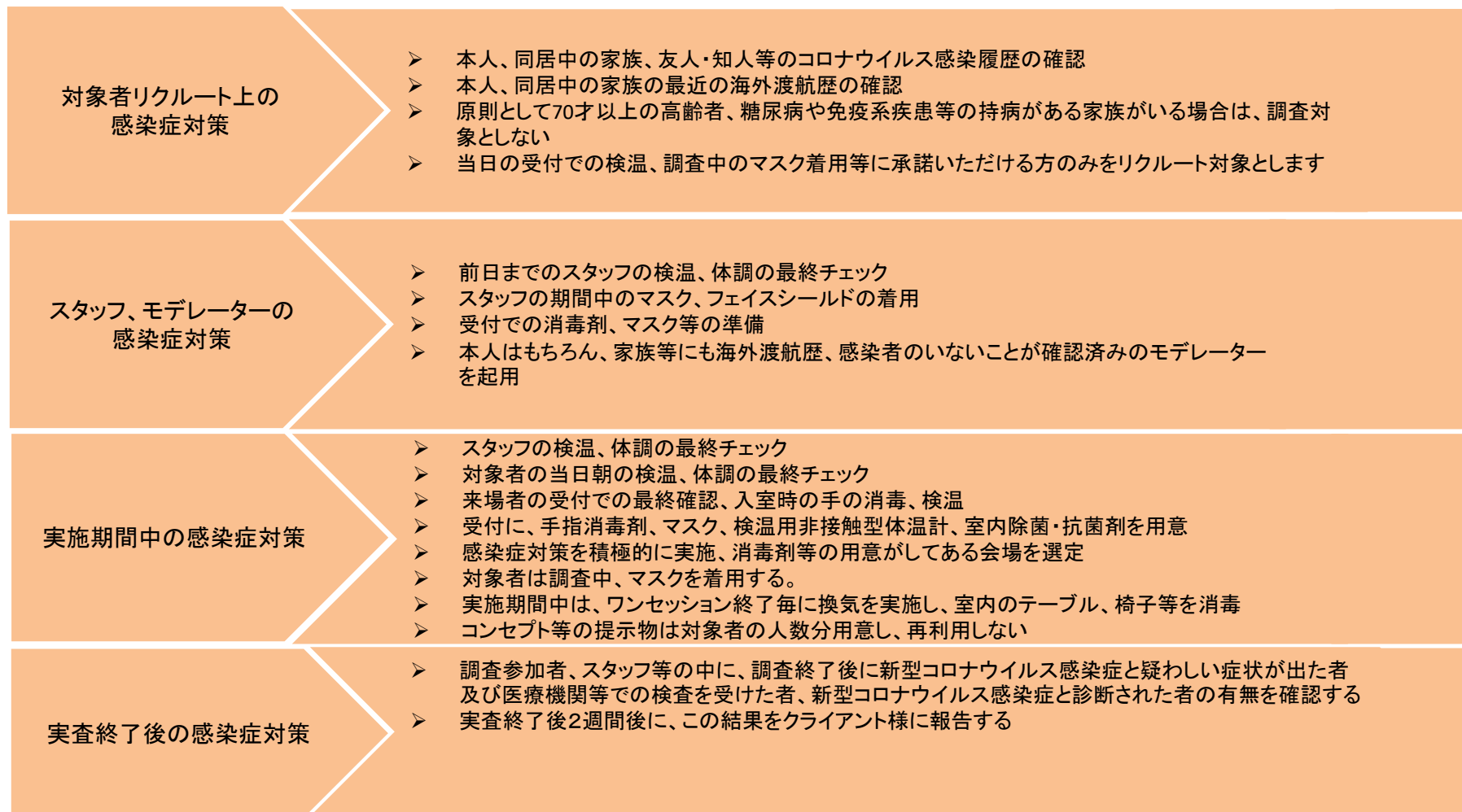
参考資料: 飛沫防止用透明スクリーンの事例	-----	12
-----------------------	-------	----

参考資料: 定性調査会場における感染症対策の事例	-----	13
--------------------------	-------	----

* お問い合わせ先	-----	14
-----------	-------	----

A. 感染症対応型定性調査指針のご案内

①オフライン定性調査における感染症対策



- 上記以外にも、御取引先様の社内規定、ご要望がありましたら、取り入れてまいります。

②オフライン定性調査のスクリーニング時点での感染症関連の確認質問

SC.新型コロナウイルス感染症の流行拡大を防止する観点から、皆様に安全・安心した環境での調査にご参加いただくための確認事項になります。下記の項目それぞれについて、あてはまるものをいくつでも結構ですでお選びください。

1. ご自身について、新型コロナウイルス感染症を診断されたことがある
2. ご自身について、最近2週間以内に、37.5度以上の発熱があった
3. ご自身について、最近2週間以内に感染症診断のためPCR検査を受けた
4. ご自身について、最近3カ月以内に海外渡航歴がある
5. ご自身に、糖尿病や免疫系疾患等の持病がある
6. ご自身について、最近2週間以内に、風通しが悪く人が密集した空間で過ごしたことがある
7. ご自身について、外出時は必ずマスクをしている
8. ご自身について、帰宅時には手の消毒もしくはせっけんでの洗浄を行っている
9. ご自身について、調査実施中のマスク着用協力できる
10. 同居中のご家族のどなたかが、新型コロナウイルス感染症を診断されたことがある
11. 同居中のご家族のどなたかが、最近2週間以内に、37.5度以上の発熱があった
12. 同居中のご家族のどなたかが、最近2週間以内に感染症診断のためPCR検査を受けた
13. 同居中のご家族のどなたかが、最近3カ月以内に海外渡航歴がある
14. 同居中のご家族の中に、70才以上の高齢者、糖尿病や免疫系疾患等の持病がある家族がいる
15. 頻繁に会う友人、知人の中に、新型コロナウイルス感染症を診断された人がいる
16. 頻繁に会う友人、知人の中に、最近3カ月以内の海外渡航歴がある人がいる

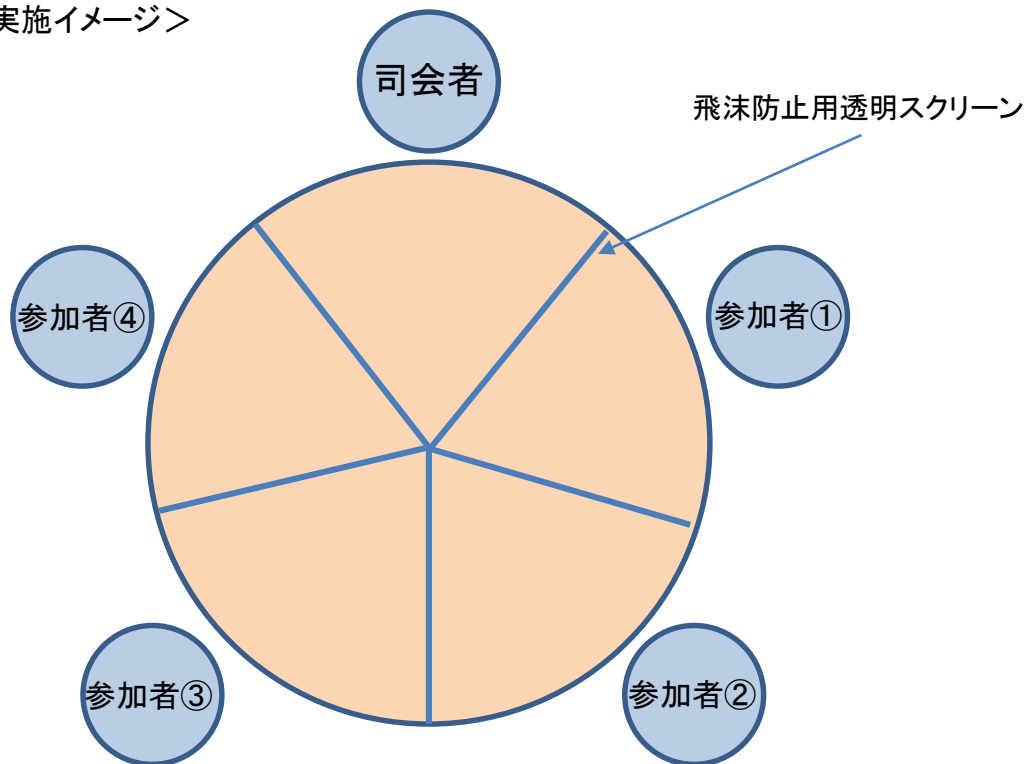
※対象条件はその都度、個別に相談させていただきます。

※また、上記以外の項目につきましても、ご要望があれば取り入れるようにいたします。

③オフライン・グループインタビュー

- 当面的間、対象者3～4名+モデレーターのミニグループインタビューを中心に実施することを前提とします
- モデレーター、対象者はマスク、フェイスシールドを着用する
- 対象者には、表情が見えるタイプのマスクをご用意することも可能
- 飛沫防止のため、参加者、モデレーターの間にはスクリーンを設置することも可能
- コンセプト等提示物は参加者人数分用意し、別グループ等への再利用はしない
- 1グループ終了毎に空気を入れ替え、ドアノブ、机、椅子等の消毒を行うため、セッション間の時間に余裕を持たせる

<実施イメージ>



※参加者の表情が見えるような透明マスクもご要望によりご用意いたします。

※ルーム内には書記が同席する場合があります。

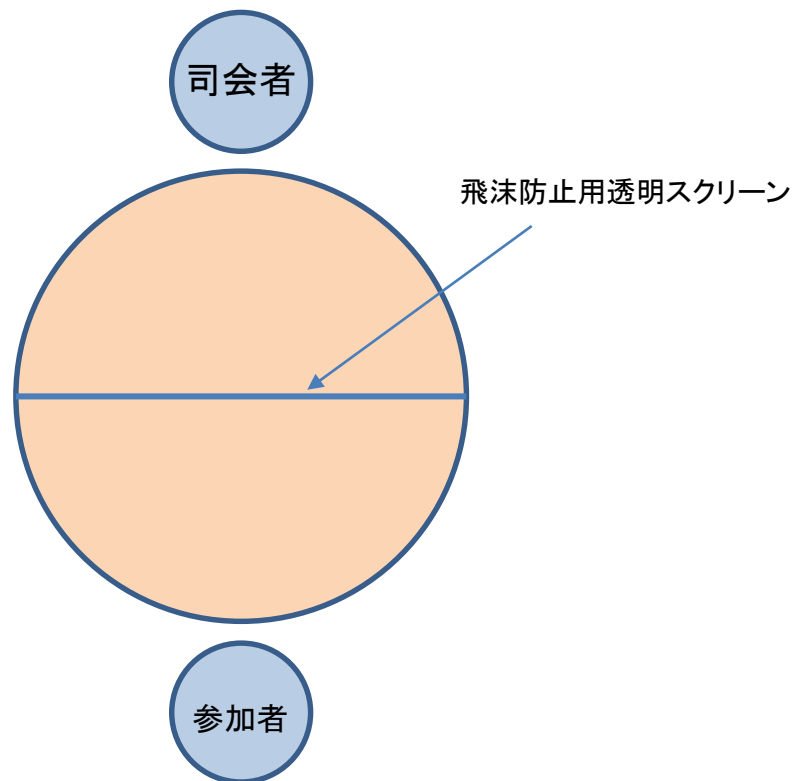
④オフライン・デプスインタビュー

- ▶ 感染防止対策は基本的にグループインタビューと同様とする

<実施イメージ>



※参加者の表情が見えるような透明マスクもご要望によりご用意いたします。

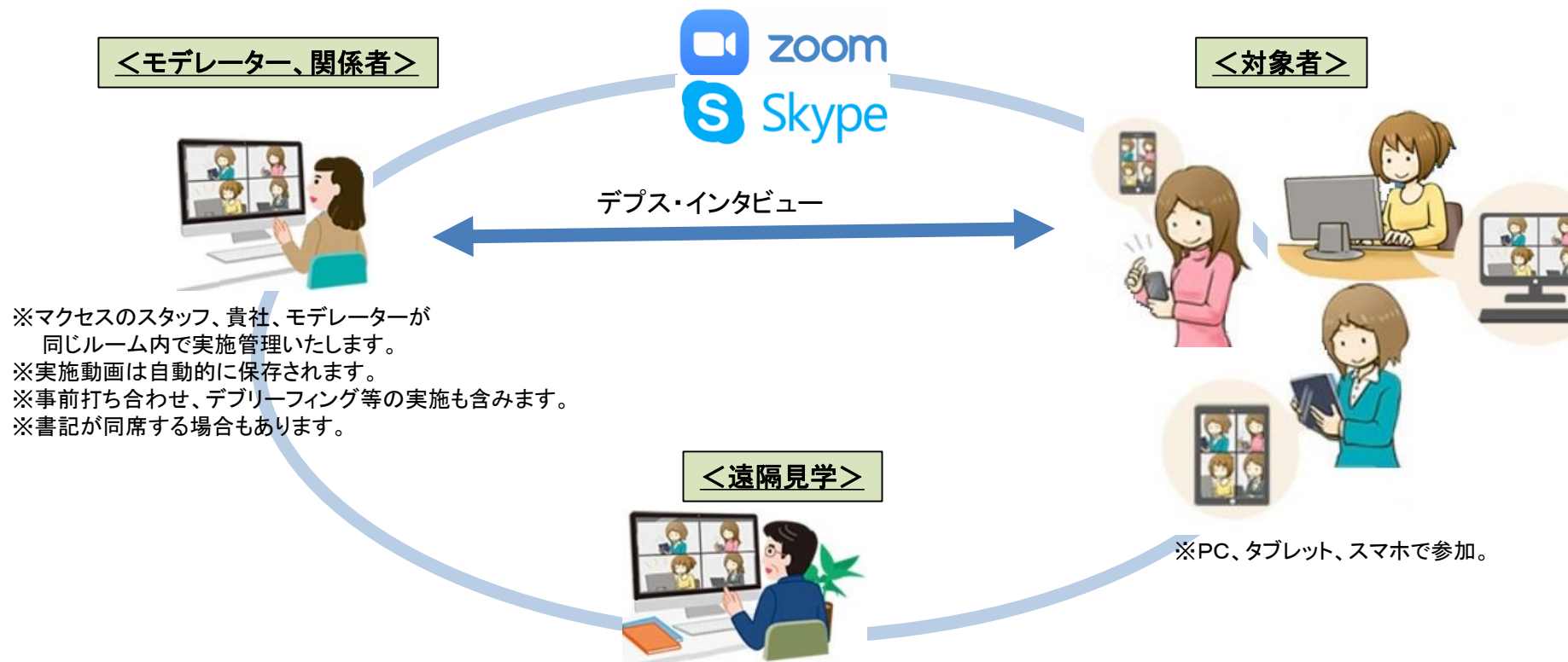


※ルーム内には書記が同席する場合があります。

A. 感染症対応型定性調査指針のご案内

2. オンライン調査

①オンライン・デプスインタビュー



- ※マクセスのスタッフ、貴社、モデレーターが
同じルーム内で実施管理いたします。
- ※実施動画は自動的に保存されます。
- ※事前打ち合わせ、デブリーフィング等の実施も含まれます。
- ※書記が同席する場合があります。

※PC、タブレット、スマホで参加。

- ※ネット回線、Zoom、Skypeのインストールが必要な場合があります。
- ※インタビューごとのID、パスワード等が必要な場合は、あらかじめメールにてお知らせいたします。
- ※ビデオ機能をオフにすることで、見学のみが可能ですが、直接、インタビューに参加することも可能です。
- ※実施後のデブリーフィングにも参加可能です。

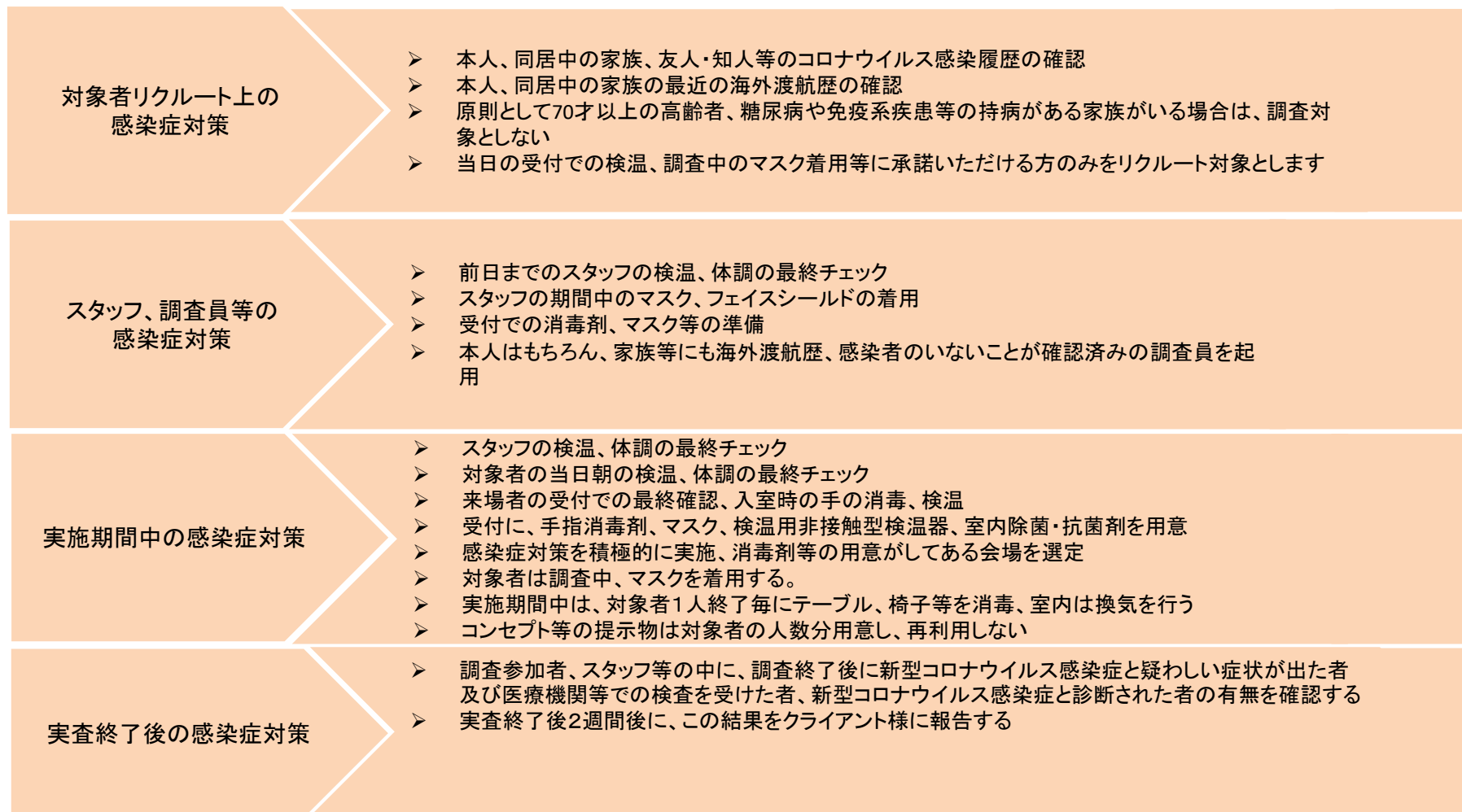
※コンセプト等資料提示物は、あらかじめ対象者宅に送付し、使用シーンで開封してもらいます。
(PCの場合は画面を通しての提示も可能ですが、参加者の所有機器をPCに限定できないため、このような方法を採用いたします)

※なお、提示物等の資料は実施後にすべて責任をもって回収いたします。

※貴社にデモ機材を持参のうえ、Zoom画面を見ながら、実際のインタビューシーンを再現することが可能です。

B. 感染症対応型定量調査指針のご案内

①オフライン定量調査における感染症対策



- 上記以外にも、御取引先様の社内規定、ご要望がありましたら、取り入れてまいります。

②オフライン定量調査のスクリーニング時点での感染症関連の確認質問

SC.新型コロナウイルス感染症の流行拡大を防止する観点から、皆様に安全・安心した環境での調査にご参加いただくための確認事項になります。下記の項目それぞれについて、あてはまるものをいくつでも結構ですのでお選びください。

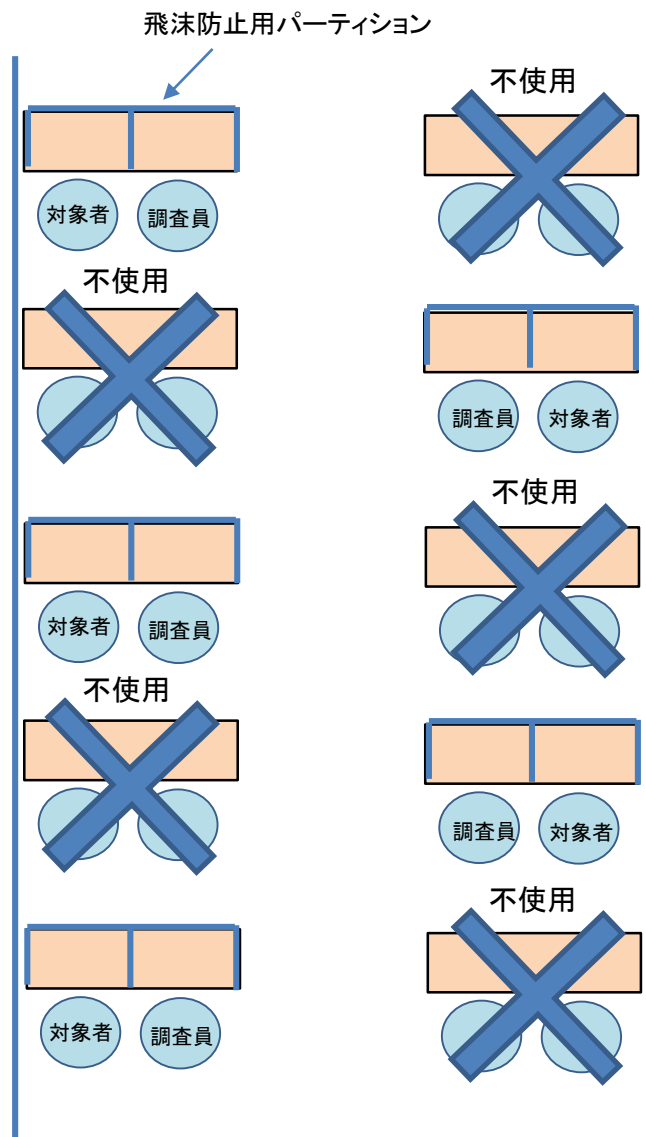
1. ご自身について、新型コロナウイルス感染症を診断されたことがある
2. ご自身について、最近2週間以内に、37.5度以上の発熱があった
3. ご自身について、最近2週間以内に感染症診断のためPCR検査を受けた
4. ご自身について、最近3カ月以内に海外渡航歴がある
5. ご自身に、糖尿病や免疫系疾患等の持病がある
6. ご自身について、最近2週間以内に、風通しが悪く人が密集した空間で過ごしたことがある
7. ご自身について、外出時は必ずマスクをしている
8. ご自身について、帰宅時には手の消毒もしくはせっけんでの洗浄を行っている
9. ご自身について、調査実施中のマスク着用に協力できる
10. 同居中のご家族のどなたかが、新型コロナウイルス感染症を診断されたことがある
11. 同居中のご家族のどなたかが、最近2週間以内に、37.5度以上の発熱があった
12. 同居中のご家族のどなたかが、最近2週間以内に感染症診断のためPCR検査を受けた
13. 同居中のご家族のどなたかが、最近3カ月以内に海外渡航歴がある
14. 同居中のご家族の中に、70才以上の高齢者、糖尿病や免疫系疾患等の持病がある家族がいる
15. 頻繁に会う友人、知人の中に、新型コロナウイルス感染症を診断された人がいる
16. 頻繁に会う友人、知人の中に、最近3カ月以内の海外渡航歴がある人がいる

※基本的な確認項目は定性調査と同様です。

※対象条件はその都度、個別に相談させていただきます。

※また、上記以外の項目につきましても、ご要望があれば取り入れるようにいたします。

③オフライン・会場調査 会場レイアウトのイメージ事例



- 机は1つ間隔で使用し、密にならないようにする
- 対象者は常に他の対象者から離れた位置に着席する
- 各机にアルコールタイプの消毒シートを配置
- 左記はインタビュー形式の会場調査の一例です。
- 自記入式で調査可能な場合は、調査員のスペースは不要となります。
- 感染症対策等でご要望がありましたら、積極的に取り入れてまいります。
- また、貴社の感染症対策指針等がありましたら、そちらを優先的に取り入れることも可能です。

B. 感染症対応型定量調査指針のご案内

③オフライン・会場調査 調査実施スペースの感染症対策の事例

- スタッフ、調査員、対象者はマスク着用を前提とします。
- フェイスシールド、飛沫防止用スクリーン等を使用いたします。
- コンセプト等の提示物は原則として対象者人数分用意し、再利用はしません。

<受付>



※受付には消毒薬、非接触型体温計等を用意。

<調査実施スペース>



※自記入式の調査の場合は、調査員用の椅子は不要となります。
※調査スペースにはアルコール消毒シート等を用意。
※室内空間は常時換気を行います。

<会場調査用飛沫防止用スクリーンの事例>

受付用飛沫防止用スクリーン



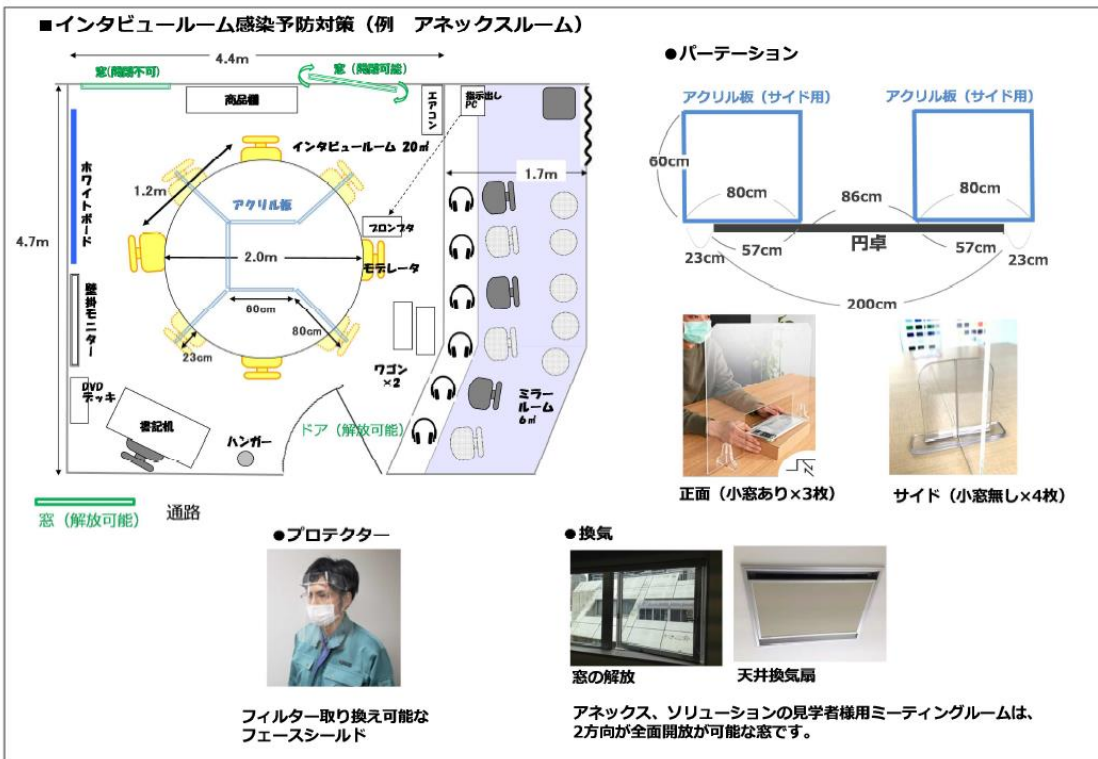
調査員と対象者の間の飛沫防止用スクリーン



<定性調査会場における対策事例>

ウェルコ アネックスルームの事例

オフィス・コキリコ 青山一丁目STEP-B1,外苑前StudioG-1の事例



※上記対策は各ルームにて完備しています。

* お問い合わせ先

- 最後まで、本調査指針をご覧くださいまして、ありがとうございます。
- ワクチン、治療薬が開発実用化されない限り、新型コロナウイルス感染症の終息はなく、まだまだオフライン調査の完全再開までにはかなりの日数が必要かもしれませんが、オフライン調査が100%完全にオンライン調査に置き換わることもないと弊社では予想しています。
- オフライン調査には、会場、ルーム、調査員、運搬業者など、関りをもつ人たちがたくさんおり、感染症のリスクを最大限に抑える形で徐々にオフライン調査が再開できることを願っています。
- 弊社のオフライン調査における感染症対策に関するお問い合わせ、ご要望は、下記、マクセス株式会社までお願いします。

マクセス株式会社

〒150-0031東京都渋谷区桜丘町21-12 桜丘アーバンライフA304

Tel:03-6427-8728, Fax:03-6427-8759

担当: 井上 誠 (E-mail : inoue@maxcess-kk.com)

斯波 晶子 (E-mail : shiba@maxcess-kk.com)

石神 浩二 (E-mail : ishigami@maxcess-kk.com)